

# 研究開発法人を中核としたイノベーションの共創の場の形成 (イノベーションハブ構築支援事業)

## 1. 施策のポイント

「イノベーションハブ」の形成による国立研究開発法人の機能強化(研究開発システムの改革)

- イノベーションハブ方式は、研究開発法人の運営費交付金等による独自資金と、研究開発成果の最大化(飛躍)に向けて支援を行うJSTの資金をマッチングさせ、研究開発法人がイノベーションを駆動させる基盤を持つのに必要な改革を行うもの
- JSTによる支援(5年程度を想定)を受ける研究開発法人は、その支援が終了した後も、イノベーションハブ方式の実施により会得した経験やノウハウを引き続き活用し、自立することを前提

中核となる国立研究開発法人が有す研究機能と研究基盤を軸(結節点)に、大学、産業界等の人材が糾合する場を創出  
技術の統合化、システム化を目指したイノベーション創出機能を強化し、人材育成にも寄与

## 2. 施策の概要

### JSTの能力を最大限活用

支援にあたっては、個々の国立研究開発法人の提案を審査・査定し、柔軟に対応

#### 明確な目標設定

研究開発法人の中長期目標・中長期計画に  
イノベーションハブへの取組内容を規定

#### 科学技術振興機構(JST)と研究開発法人の連携

JST

ファンディングを活用した人材糾合、研究成果の展開  
(起業化支援)、技術の調査・分析など

#### 研究開発法人

人材育成・交流の場の提供(施設設備の整備・提供)、  
コア技術をベースにした研究開発推進など

#### 法人ごとに特色ある新たな研究開発システム導入

- クロスアポイントメントの積極活用による外国人研究者、企業人材の受入れを推進
- 研究者向けの柔軟な給与・人事システム
- 連携大学院制度を活用した人材育成

